平成24年度事務事業実績評価表【政策・経常共通】

政策No.	2	施策No.	22	事業No.	46 － 59

事務事業名	支援生徒用昇降機導入事業【24新規】	会計	一般会計				
		事業種別	政策	開始	24	終了	
課等名	学校教育課	係等名	施設係				
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり				
	施策	22	義務教育の充実				

目的		対象指標	指標名及び単位	24年度数値
対象(誰・何を)	階段昇降機の設置が必要な小中学校		数階段昇降機の設置が必要な学校	2
意図(どういう状態にするか)	肢体等に障害があっても容易に校舎内の移動ができる		障害で階段を自力で上ることができない児童生徒数(車椅子利用者)	3
向上させたい上位施策の成果指標	良好な環境で授業を受けることができる児童生徒数			

目標	種別	指標名及び単位	24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	昇降機を設置した学校数／昇降機が必要とされる学校数	100	100	100	100	
	定性目標						

事業概要

・肢体障害等のある児童生徒が普通学級(公立小中学校)で教育を受けるための環境整備は、自治体が行う必要がある。
・平成24年5月1日現在、飯田市内の小中学校で車椅子使用の児童生徒は3人(3校)。
・各学校へは、スロープや障害者用トイレの設置等により最低限の平面的移動は可能であるが、階段を使用する場合に支障がある。
・そこで階上の教室への移動がスムーズ行えるよう昇降機を取り付ける。
・設置を想定する昇降機は、現在、上村自治振興センターに設置の物と同様品を見込む。

24年度事業内容	事業内容	名称	活動指標
	1 階段昇降機の設置 ①旭ヶ丘中学校 1階から3階にかけて昇降装置1か所1基 ②鼎中学校 1階から2階1基と2階から中2階へ1基 計2か所2基 2 次年度以降の設置が想定される学校の調査及び学校打ち合わせ ①現在小学校に通っていて将来的に中学に進学をするのが見込まれる学校のバリアフリー化対策の検討 ②階段昇降機以外の選択肢の検討	設置済み中学校	2校

事業コスト	23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①	0	9,135	9,135	0	
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源		9,135	9,135		
人件費計(千円)②	0		286		
正規職員所要時間			80		
臨時職員所要時間					
総事業費①+②	0	9,135	9,421	0	

事業内容・目標達成状況の振り返り	学校校舎階段の形状に合わせてのすべてオーダーメイドになるため、着工から完成まで時間がかかる。階段は、災害時の避難経路にもなっており、生徒全体の安全配慮も必要。

改革改善の考え方		
	①問題点	平成24年度から設置し始めたため、小中学校の様子も見ながら普及していくことが求められる。
	②改革提案	今後は、必要な学校を調査し、生徒の入学にあわせて設置していく必要がある。